

三学期も終わりを迎えようとしています。一年生はもうすぐ二年生になり、自分たちの入学の頃を振り返りながら新一年生を迎え入れる準備に向かっていることと思います。また、園児たちは、ランドセルを背負い小学校の門をくぐることを心待ちにしていることでしょう。就学を間近に控え、どこの地域も保幼小が連携して、一人一人の子どもたちの学習に向かうよりよい環境づくりに取り組んでいます。今号では、「地域で子どもの育ちを支える」視点から、幼児教育センターが行っている事業内容にも触れつつ、様々な交流活動を通して保幼小間で子どもたちが成長し合っている姿をお届けします。

地域で子どもの育ちを支える——その1——幼児教育センター事業より

平成26年度 生活規範意識向上講座 <子どもたちの規範意識を育むために>

毎年、区内の小学校を中心に4つのブロック(大森、池上、調布、蒲田地区)に分けて講座を開催しています。

今年度も健全育成委員会の校長先生方からの講話を聴講した後、参加者同士で協議会を行い、規範意識にかかわる共通認識を深めました。地域の保育園・幼稚園・小学校・中学校の先生方、児童館の指導員、保護者の方々が協議会に積極的に参加し、乳幼児期からの規範意識の育ちや、一人一人の自己肯定感の重要性について確認し合いました。協議会ワークシート・アンケートより抜粋して意見・感想をまとめてみました。

規範とは大人が子どもに示すものだと思います。

自分を大切にできる子は規範意識も高い。得意なことがもてることは大事ですね。



年少の頃より、良い所を見付け、自己肯定感を高めていくことが規範意識を育むために大事であることが分かりました。

地域・家庭・学校が連携していく姿勢が必要ですね。

平成26年度 地域連携協議会 <就学する子どもたちのより良い教育環境を整えるために>

年度末の2月、3月に区内の小学校の学区域を中心に、14のグループに分かれて、保幼小間で情報交換を行いました。この会議も今年度で4回目となりました。子どもたちの園生活の様子や成長の過程などを伝えていくことで、小学校側は、入学時の指導にどうつなげていけばよいかイメージを深め、学級経営に活かしていくことができます。こうした保幼小の連携は連続性のある子どもの育ちを着実に支えていくことなのでしょう。

地域で子どもの育ちを支える——その2—— 保幼小の連携交流

…安心して小学校入学を迎えるために…

保育園児の小学校への行事参加、小学生の近隣保育園への訪問交流

<作品展で小学生の作品を見る>…力のこもった作品の数々に心を揺り動かされ、イメージを膨らませる園児たち。作品に見入る子や作り方を先生に聞く姿、知っているお兄さんお姉さんの作品を探す姿などが見られました。



すごい作れるね!

(帽子に)羽が付いてる! 被ると飛べるのかなあ

作品展見学風景



<小学生による保育園訪問リコーダー演奏会>

四年生から六年生の有志が宮崎駿の映画主題歌3曲とクリスマスの曲を披露してくれました。目を丸くして演奏に聴き入る全園児。「この歌知ってるよ!」「上手だね」と心地よい時間を過ごし、小さな手でいっぱい拍手を送っていました。



演奏会風景

小学一年生と保育園・幼稚園との三学期の交流会

<一年生の学習の様子を園児が見学しました>



国語の授業



音楽の授業

この日は、園児が小学校の国語・音楽の授業を見学させていただきました。園児たちは、興味深く見学していました。時には一緒に授業に参加することもでき、一年生気分を味わえたようです。一年生体験は、園児の就学への意識を高めるだけでなく、一年生自身が成長感を得ることのできる機会になっているようです。

<一年生と園児の学校体験交流会>



園児が椅子に座り「グー・ピタ・ピン」を教えてもらいました。

学校全体の協力体制のもと、一年生体験や学校案内が行われています。一年生は、園児の期待に応えられるよう、体験内容を考え、工夫を施していました。園児の小学校体験を支えながら一年生も楽しそうでした。次第に緊張がほぐれてきた園児の表情からも、一年生に対して親しみを深めている様子が伝わってきます。



ランドセル、うまく背負えているかな・・・

一年生から「王冠」のプレゼントが贈られました。歓迎の思いを込めて作成し、成長を助長させている効果を感じました。園児の期待感も増しているようです。

「ノートに真似して書いてみてね」



一年生と園児との様々な交流体験は、子ども同士の協同的な学びの場となっていました。保幼小の連携・交流活動は、「幼児が小学校生活に親しみを寄せたり、自分の成長への見通しをもったりすることができるようになる。児童は、園児に伝わるような言葉使いやかかわり方を工夫し、思いやりの心を育てたり、自分の成長に気付いたりする。」とされています。今回の交流活動では、まさにこのような連携の効果を捉えることができました。園児の様子からも安心して入学式を迎えられる連携になったことでしょう。